

## 6 図面の作成

### (1) 表示記号

設計図を作成するときは、以下の表示記号等を用いて作成してください。なお、他の表示記号を用いる場合は必ず凡例を設けてください。

表 3-18

管 種	記 号	管 種	記 号
硬質塩化ビニル管	薄肉管	鋼 管	G P
	厚肉管		
鉄筋コンクリート管	C P	陶 管	T P

表 3-19

名 称	記 号	名 称	記 号	名 称	記 号
大 便 器		除 害 施 設		排 水 管	(汚水赤着色) (雨水青着色)
小 便 器		汚 水 ま す 及 び 汚 水 人 孔		既 設 排 水 管	(汚水赤着色) (雨水青着色)
手 洗 器 洗 面 台		雨 水 ま す 及 び 雨 水 人 孔		排 水 き よ (U 型 溝)	
台 所		接 続 汚 水 ま す 及 び 接 続 汚 水 人 孔		管 の 交 差	
浴 室		接 続 雨 水 ま す 及 び 接 続 雨 水 人 孔		雨 ド イ	
床 排 水 等 (スクリーン)		格 子 ま す		立 管	
外 流 し		既 設 ま す 及 び 既 設 人 孔		公 私 境 界 線	
洗 濯 機		既 設 接 続 ま す 及 び 既 設 接 続 人 孔		隣 地 境 界 線	
ト ラ ッ プ		雨 水 浸 透 ま す 及 び 接 続 雨 水 浸 透 ま す		建 物 外 周	
掃 除 口		地 下 排 水 槽 地 下 汚 水 槽		排 水 面 積 区 画 割	
浄 化 槽		地 下 湧 水 ポ ン プ		浸 透 管	
グ リ ー ス ト ラ ッ プ		デ ィ ス ポ ー ザ 排 水 処 理 シ ス テ ム (機 械 ・ 生 物)		デ ィ ス ポ ー ザ 排 水 処 理 シ ス テ ム 処 理 槽	

- \* 境界線・建物外周・寸法線は細線とし、排水設備は太線で表示してください。
- \* 大便器等については、階数による表示をしてください。
- \* 立管には必ず上階の器具を明示してください。

## (2) 記入数値の単位及び端数処理

表 3-20

種 別	区 分	単 位	記 入 数 値
排 水 管	管 径	mm	
	管 厚	mm	
	勾 配	%	管径 200mm 以下は、小数点以下 1 位まで
			管径 200mm 以上は、小数点以下 2 位まで
延 長	m	小数点以下 1 位まで	
汚 水 ま す 及び 人 孔 (マンホール)	内 径 ・ 内 の り	cm	
	深	cm	cm どまり
雨 水 ま す	内 径 ・ 内 の り	cm	
	深	cm	cm どまり
	泥 だ め 深	cm	cm どまり
排 水 き よ ( U 型 溝 )	幅	cm	
	深	cm	
	勾 配	%	小数点以下 2 位まで
	延 長	m	小数点以下 1 位まで
縦 断 面 図	地 盤 高	m	小数点以下 2 位まで
	土 か ぶ り	m	小数点以下 2 位まで
	管 底 高	m	小数点以下 2 位まで
排 水 面 積	1,500 m <sup>2</sup> 未 満	m <sup>2</sup>	小数点以下 1 位まで
	1,500 m <sup>2</sup> 以 上	ha	小数点以下 4 位まで

\* 各記入数値以下の端数は四捨五入してください。

## (3) 記入方法

ア 配置図 (平面図) の場合

表 3-21

名 称	記 入 内 容	記 入 例
汚 水 管 排 水 管	路線番号・管径・管種・勾配・延長	⑩100VU 2.0/100 4.0 ⑩100VU 2.0/100 4.0 ○————○
雨 水 管 排 水 管	路線番号・管径・管種・勾配・延長	R⑩100VU 2.0/100 4.0 R⑩100VU 2.0/100 4.0 ⊗————⊗
雨 水 浸 透 排 水 管	路線番号・管径・管種・勾配・延長 (浸)	R⑩100VU 2.0/100 4.0(浸) R⑩100VU 2.0/100 4.0(浸) ⊗-----⊗
汚 水 ます 及 び 人 孔 (マンホール)	ます番号・内径又は内径のり・深	No.1 15×H30 No.1 90×H150
特 殊 な ます	ます番号・内径又は内径のり・深	No.1 12×30×H30 T-1 (注 1)
雨 水 ます	ます番号・内径又は内径のり・深 (泥だめ深)	RNo.1 30×H45(15) (注 2)
雨 水 浸 透 ます	ます番号・内径又は内径のり・深 (浸透ます)	RNo.1 30×H50 (浸)
雨 水 ます に 防 臭 トラップ 設置	ます番号・内径又は内径のり・深 [封水深と泥だめ深 の合計数値] トラップ型式	RNo.1 30×H50(20) R T-2
排 水 き ょ ( U 型 溝 )	幅深・勾配・延長	U15 0.40/100 12.0
ド ロ ッ プ	ます番号・内径又は内径のり・深 ドロップ型式・深	N0.2 40×H80 D-1 h=50 (注 3)
副 管	ます番号・内径又は内径のり・深 副管の管径・深	N0.2 90×H250 副管 φ200 h=97 (注 3)
掃 除 口	番号・内径又は内径のり・深	No.1 10×H50
地 下 排 水 槽	排水の種類・ポンプの数	汚水・2基
デ ィ ス ポ ー ザ 処 理 槽	メーカー名・設計人員 評価機関・評価基準年	○○ (株)・300人 茨城薬公検セ・H16.3 基準 (評価機関名は略称する)
グ リ ー ス ト ラ ッ プ	メーカー名・容量 名称・認定番号等 工業会等の規格がある場合は、名称・認定番号等記入	○○ (株)・300(L) ○○工業会・20100

(注 1) 汚水ますはトラップを設置する場合は、平面図にトラップ型式を記入してください。

(注 2) 雨水ますの表示における深は、泥だめ深を加えた深さとしてください。

(注 3) ドロップ、副管の表示において、ドロップ型式・深とあるが、この深は、上流管底と下流管底との落差を cm 単位で表示してください。

名 称	記 入 内 容	記 入 例
汚 水 路 線	路線番号・管径・管種・勾配・延長 /	① 100VU 2.0/100 4.0 (注 1)
雨 水 路 線	路線番号・管径・管種・勾配・延長 /	R③100VU 2.0/100 4.0
雨水浸透路線	路線番号・管径・管種・勾配・延長 (浸) /	R③100VU 2.0/100 4.0(浸)
汚水ます及び 人孔(マンホール)	ます番号・内径又は内のり・深 /	No.1 15×H30 No.1 90×H150
特殊なます	ます番号・内径又は内のり・深 /	No.1 12×30×H30
雨 水 ます	ます番号・内径又は内のり・深 (泥だめ深) /	RNo.1 30×H45(15) (注 2)
雨水浸透ます	ます番号・内径又は内のり・深 (浸透ます) /	RNo.1 30×H50(浸)
雨水ますに 防臭トラップ設置	ます番号・内径又は内のり・深 [封水深と泥だめ深 の合計数値] /	RNo.1 30×H50(20)
ド ロ ッ プ	ます番号・内径又は内のり・深 / ドロップ型式・深	No.2 40×H80 D-1 h=50 (注 3)
副 管	ます番号・内径又は内のり・深 / 副管の管径・深	No.2 90×H250 副管 φ200 h=97 (注 3)
掃 除 口	番号・内径又は内のり・深 /	No.1 10×H50

(注 1) 汚水路線及び雨水路線の表示における延長は、一般的にますの中心までの距離としてください。

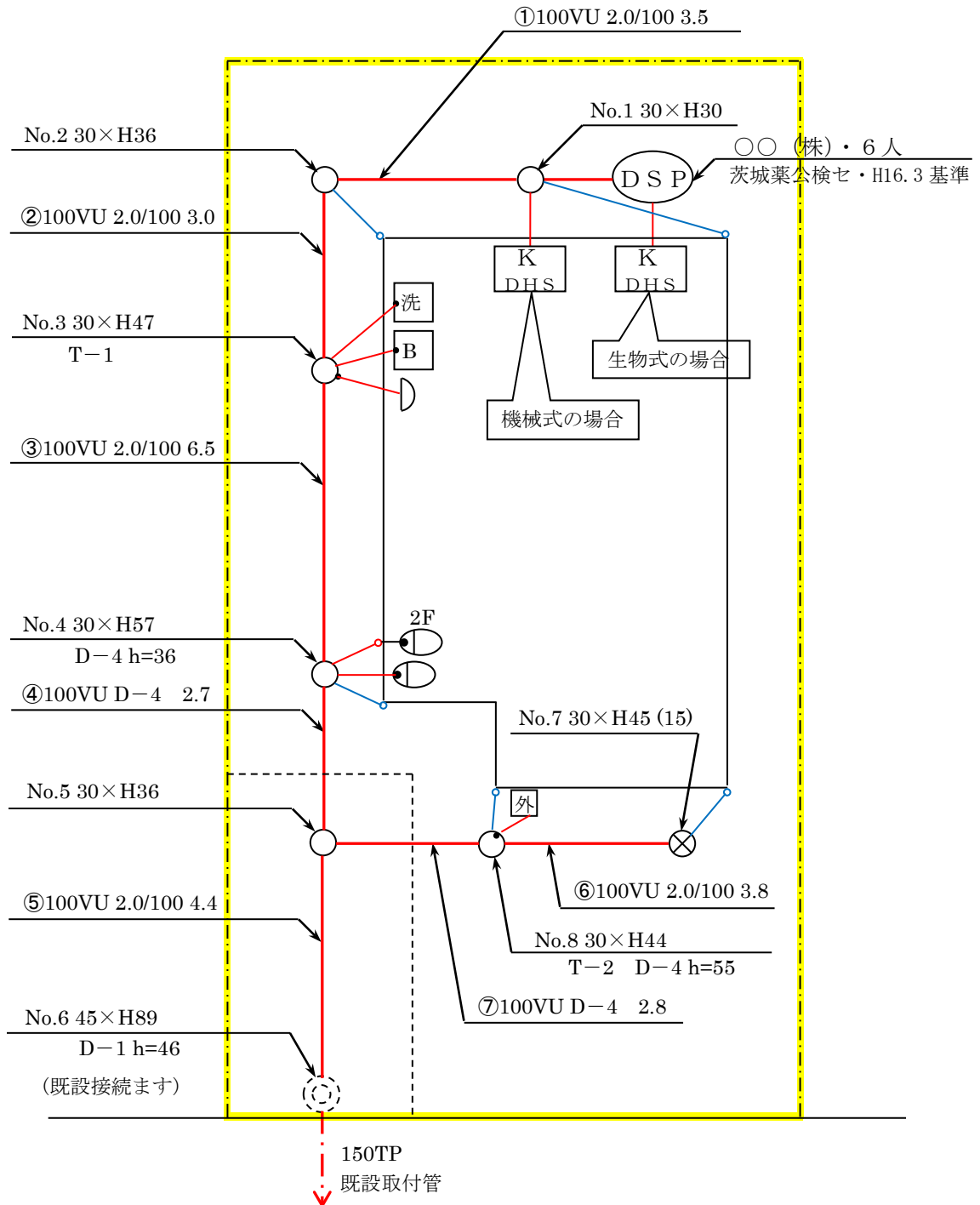
(注 2) 雨水ますの表示における深は、泥だめ深を加えた深さとしてください。

(注 3) ドロップ、副管の表示において、ドロップ型式・深とあるが、この深は、上流管底と下流管底との落差を cm 単位で表示してください。

(4) 記入例

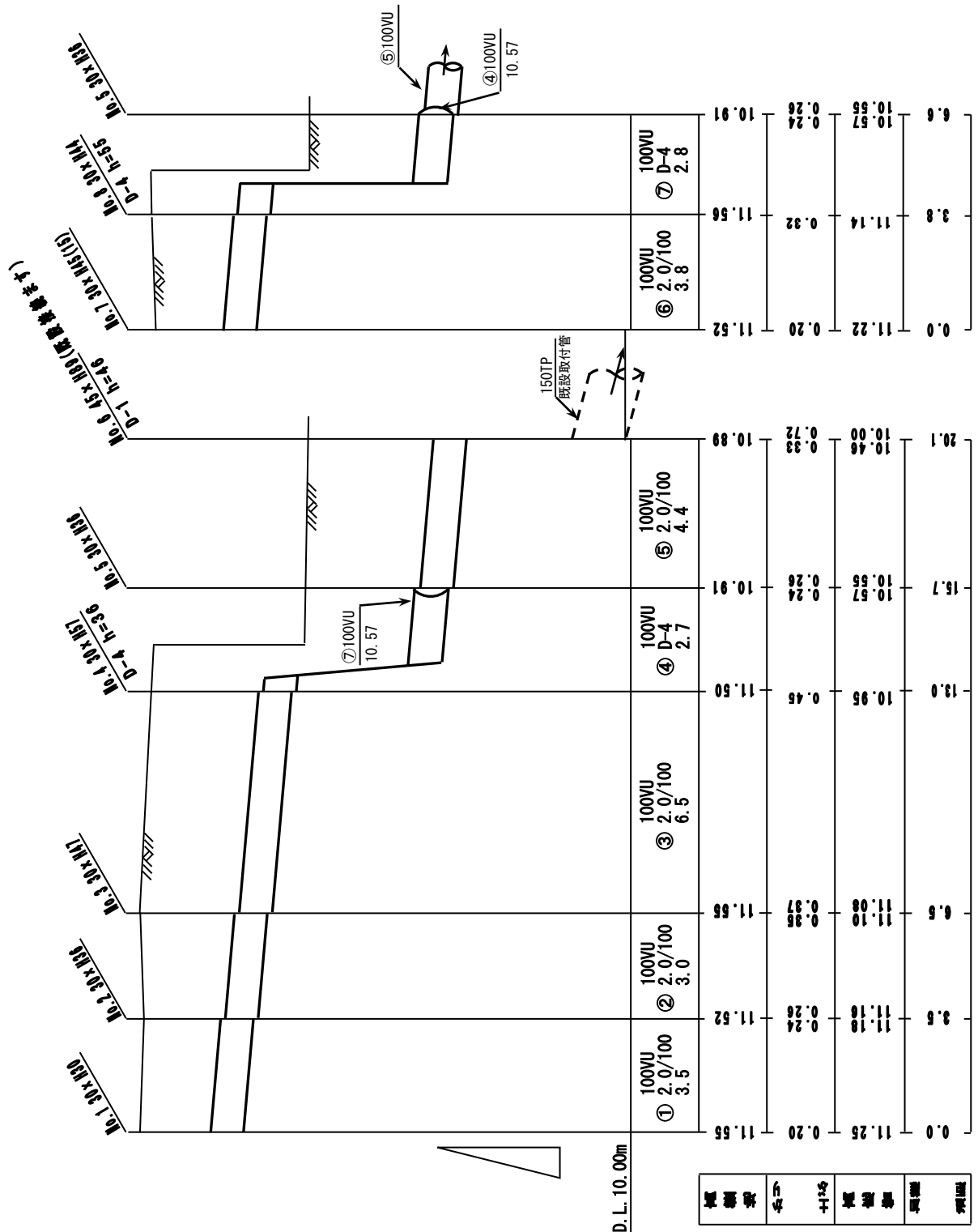
ア 合流式の場合

図 3-32 配置図 (平面図)



- 注 1 ディスポーザ排水処理システムを設置した場合は、必ず記入してください。  
 2 グリーストラップが必要となる業種は必ず、適正な容量のものを設置し、平面図に記入してください。

図3-33 縦断面図



注 1 土かぶりは、硬質塩化ビニル管 (VU) を使用した場合の計算です。

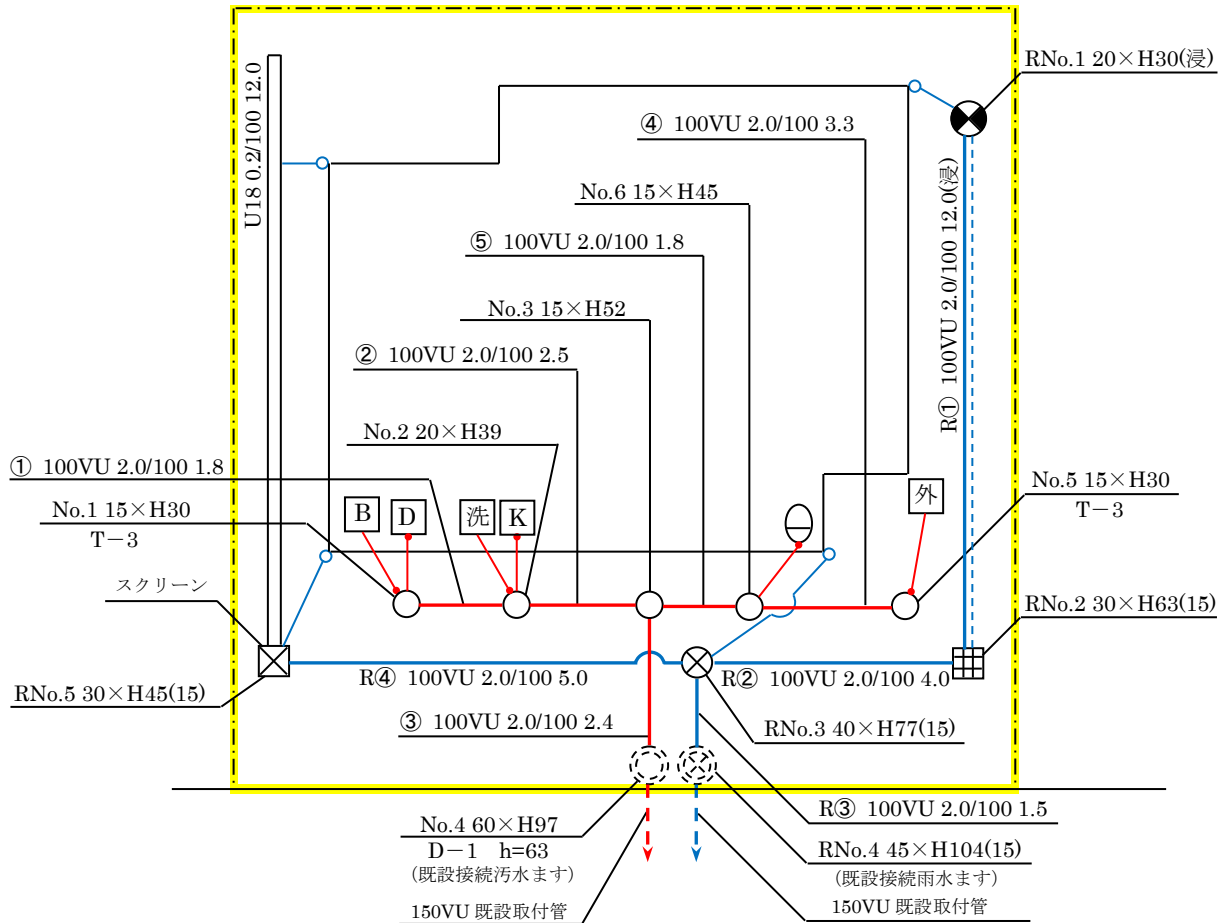
2 土かぶり=地盤高- (管底高+管径+管厚)

管底高=地盤高- (土かぶり+管径+管厚)

ます深=地盤高-下流管底高 (ます内で、上流と下流の管底に 1cm 以上の落差を付けてください。)

- 3 会合する管については、路線番号・管径・管底高を記載してください。  
 イ 分流式の場合

図 3-34 配置図 (平面図)



- 注 1 ディスポーザ排水処理システムを設置した場合は、必ず記入してください。  
 2 グリーストラップが必要となる業種は、必ず適正な容量のものを設置し、記入してください。

图 3-35 縦断面図

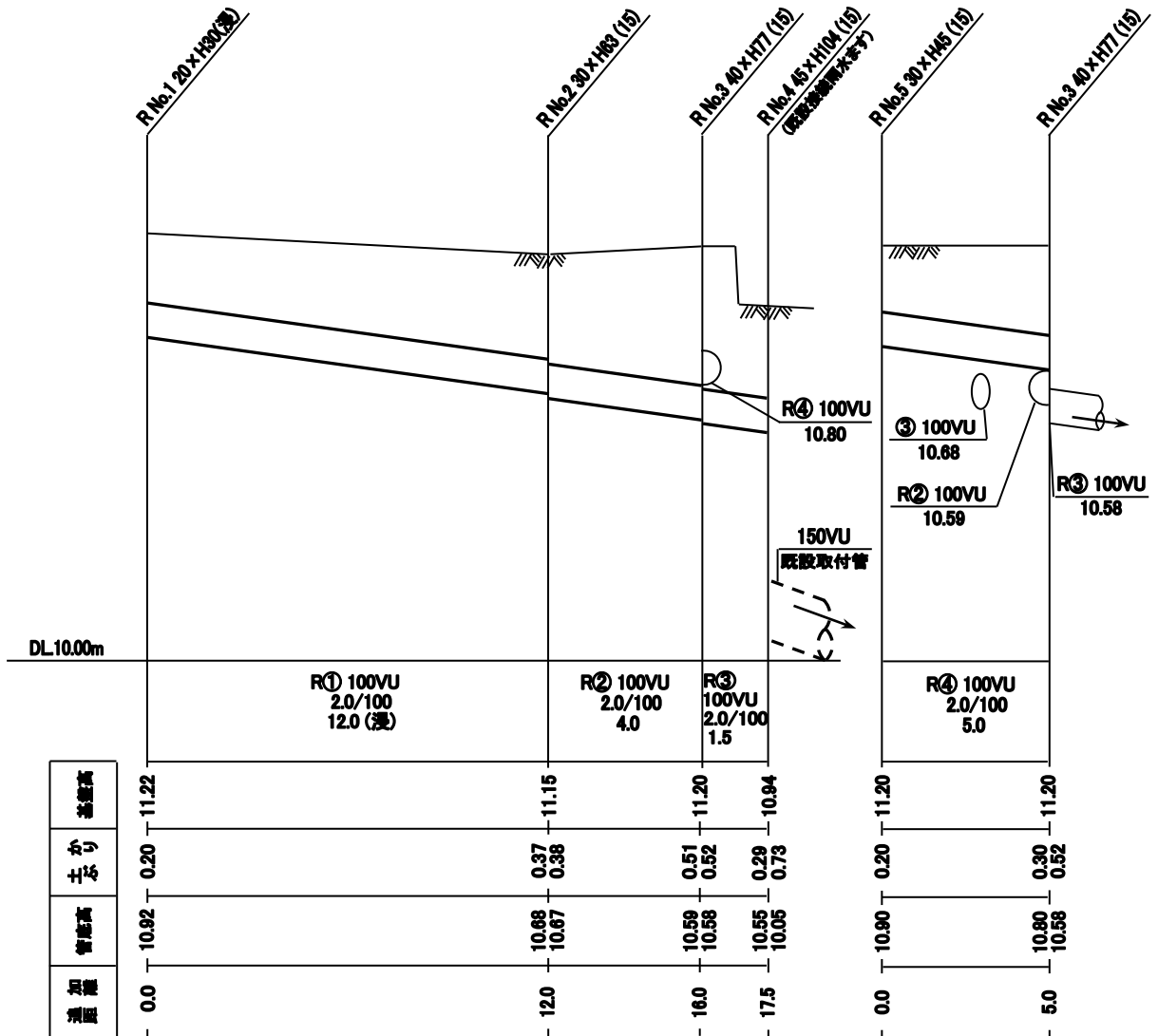
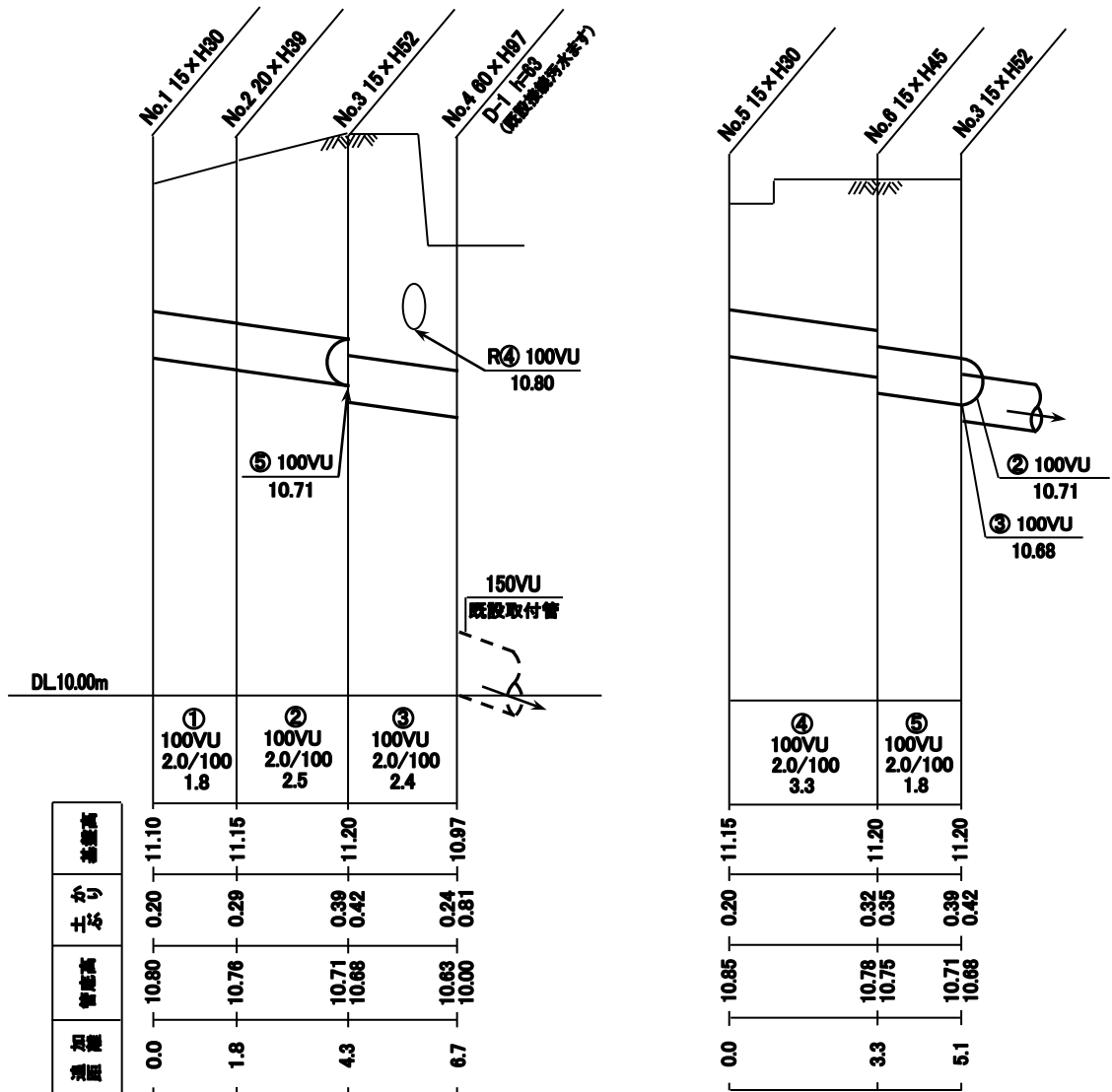




図 3-36 縦断面図



注 1 土かぶり = 地盤高 - (管底高 + 管径 + 管厚)

管底高 = 地盤高 - (土かぶり + 管径 + 管厚)

ます深 = 地盤高 - 下流管底高

2 分流地区で污水管と雨水管が交差する場合は、必ず交差する各々の排水管を縦断面図に記入してください。

ウ ドロップ管及び副管

図 3-37 配置図 (平面図)

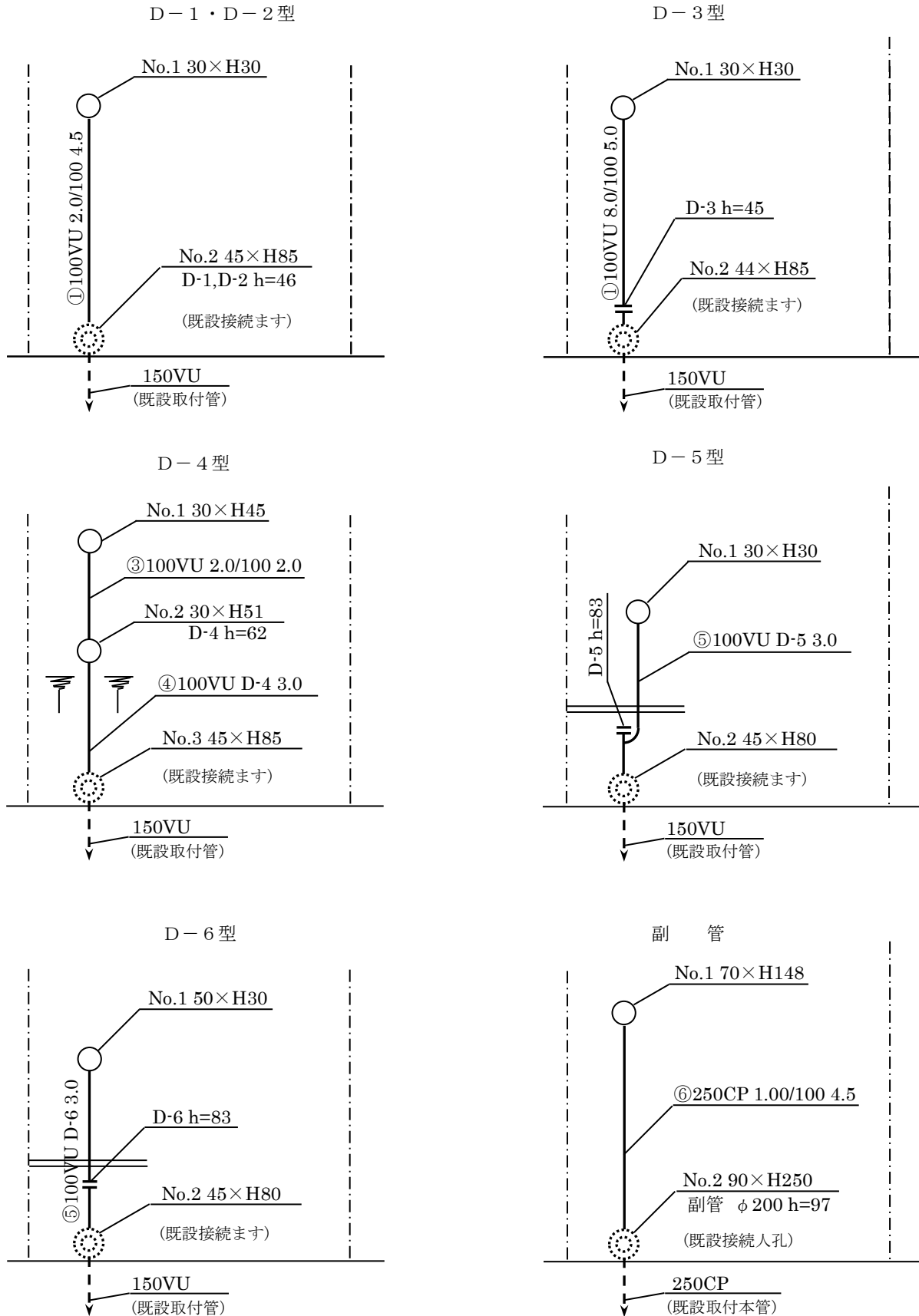
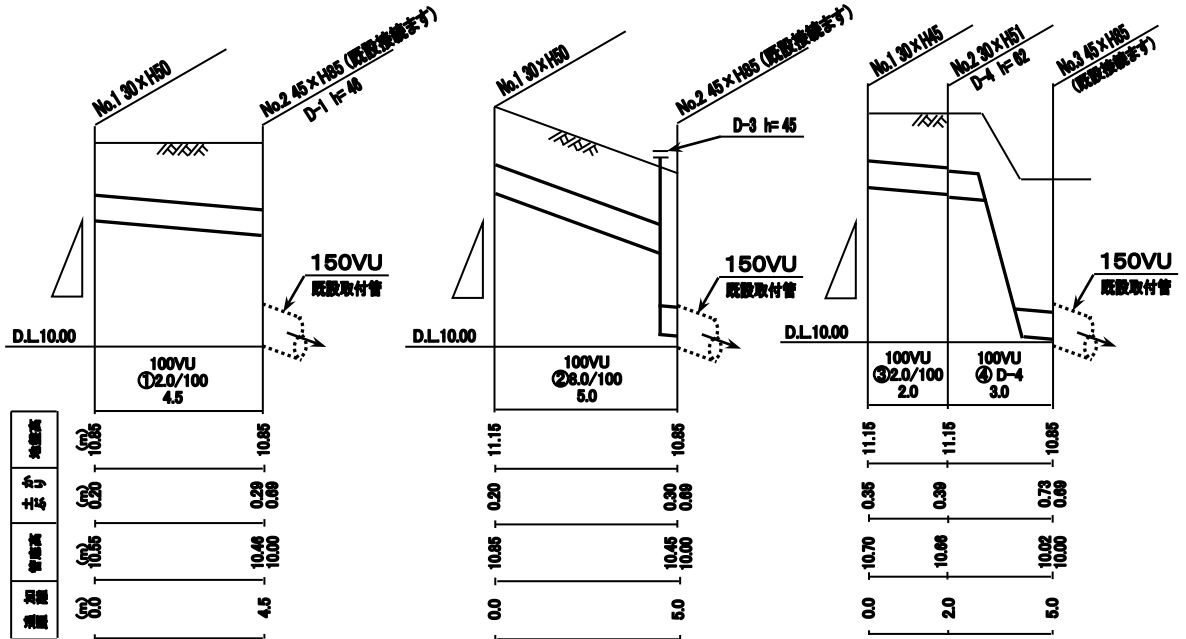


図 3-38 縦断面図

D-1・D-2型

D-3型

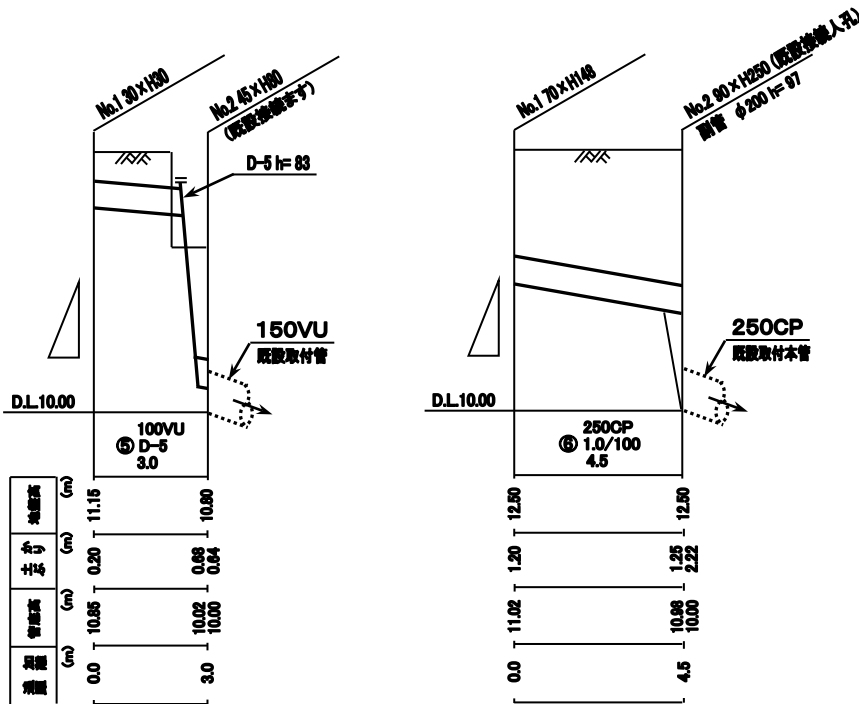
D-4型



\* D-4の場合の落差hは、上流ますの流出管底高と下流ますの流入管底高との落差とします。

D-5・D-6型

副管



\* D-5、D-6の場合の落差hは、上流ますの流出管底高と下流ますの流入管底高との落差とします。

\* ドロップ管及び副管は排水設備の中間ます及び人孔（マンホール）でも使用できます。